

ふれあい

2009年 秋 vol. 31

発行日

平成21年10月1日

発行：医療法人 平心会 須賀川病院

広報委員会

須賀川市丸田町17番地 TEL：0248-75-2211

URL：<http://www.h3.dion.ne.jp/~heishin>

E-mail：sukagawa@d2.dion.ne.jp



場所：日光 湯の湖

撮影：浅倉 音重 さん

※ 湖が鏡面となり、上下どちらかわからなくなる程、鮮明に空と山の景色が映し出された一枚です。浅倉さん、いつも素晴らしい写真をありがとうございます。

◆◆◆◆ 目 次 ◆◆◆◆

- 1面 ・表紙
- 2.3面 ・高齢者の外科手術／新MRI装置の導入
- 4.5面 ・新MRI装置の導入
- 6.7面 ・インフルエンザ予防接種について／旬の魚『秋刀魚』
- 8面 ・病院理念・基本方針／患者の権利憲章
／透析室通信／編集後記



高齢者の外科手術



須賀川病院
副院長
菊地 洋一

日本の平均寿命は女性が世界1位、男性が世界4位とトップクラスで、年々上がっています。それに伴い高齢者でも手術を受ける患者さんが増えています。

昨年2008年外科で手術を受けた患者さんの平均年齢は65.8歳で、1998年は54.8歳であったのと比べ10歳上昇しています。また、昨年85歳以上で手術した患者さんも4名と増えています。これは高齢であっても、元気で全身状態がよく、手術に耐えることが出来る患者さんが増えたことが1つの理由です。また、命にかかわる病気にかかっても、それがよくなり、次に今度手術が必要になるようになってしまふことがあるというのも理由の1つと考えられます。

今年高齢ながら手術を受け、元気に回復された患者さんがいらっしゃいますのでご紹介いたします。Aさんは96歳で、須賀川病院において全身麻酔で手術を受けた

患者さんでは最高齢です。5年前に狭心症で冠動脈ステント（心臓に行く動脈を広げてホースを入れる）治療を受けています。しかし全身状態は良好で、自分の身の回りのことも出来、家の周りの仕事もしているとのことでした。貧血があり、胃の検査をしたところ潰瘍があり、胃を切除する治療が必要となりました。Aさん、家族の方と手術の目的と必要性、合併症などについて話し合いをしました。するとAさん本人が、積極的に治療を希望され、手術に前向きなお考えになりました。手術に当たり全身の検査を行い、手術可能と判断しました。血をサラサラにするお薬を飲んでいたので、1週間前に休薬し、血をサラサラにする点滴を手術の4時間前まで行いました。手術は胃を全部とリンパ腺を取り、食道と小腸をつなぐ手術を行いました。3時間間の手術でしたが、Aさんは徐々に回復され、食事が取れるようになり、元気に退院されました。現在も外来に通院していらつしやいます。

手術がうまくいった理由として、1つはAさんは以前から身体をよく動かし、身の回りのことをなさっていて体力があり、認知症などもなかったことがありまふ。また治療に積極的で、手術して治すという気持ちを持っていたこと、手術後もリハビリに励み、食事もよく気を

付けていらつしやったことがあると思います。

高齢の患者さんの手術にはどうしても合併症が起こる危険性というのがあります。手術中や手術後に、肺炎、喘息などの呼吸器疾患、不整脈、心不全、心筋梗塞などの心疾患、さらに脳梗塞や肺梗塞などの循環系疾患、せん妄や痴呆症の症状が出ることもありまふ。

当院では手術を受けられる患者さんに、心臓、呼吸器などの検査を行い、手術に耐えられるかどうかを判断します。そして患者さん、家族の方とお話し合いをして、手術を行うかどうかの決定をします。手術となりましたら、合併症が起こらないように、いろいろな処置を行っています。高齢だから手術が出来ないということはないと思います。今後も患者さんに安心して手術を受けてもらうようにし、手術してよかったと思える治療を行っていききたいと思ひます。



新MRI装置の導入

EXCELART
Vantage™
Powered by *Atlas*

高画質とスピードを広領域の撮像に。

1.5テスラ MRI装置

EXCELART Vantage™ Powered by Atlas



前回、夏号の広報誌では新CT装置について紹介しましたが、今回は新MRI装置について紹介したいと思います。

8月10日より東芝メディカルシステムズ社製MRI装置「EXCELART Vantage (エクセラート・バンテージ)」が稼動しています。すでに多くの方が検査を受けられたかと思えます。

MRI検査とは？

MRIは、X線の被ばく無しに磁力を使って身体の様々な断面を撮影するだけでなく、造影剤を用いずに血管や膵管・胆管のような管空も描出できることから、非侵襲な検査として様々な部位に用いられています。

エクセラート・バンテージの特徴

1 患者さまにやさしいMRI

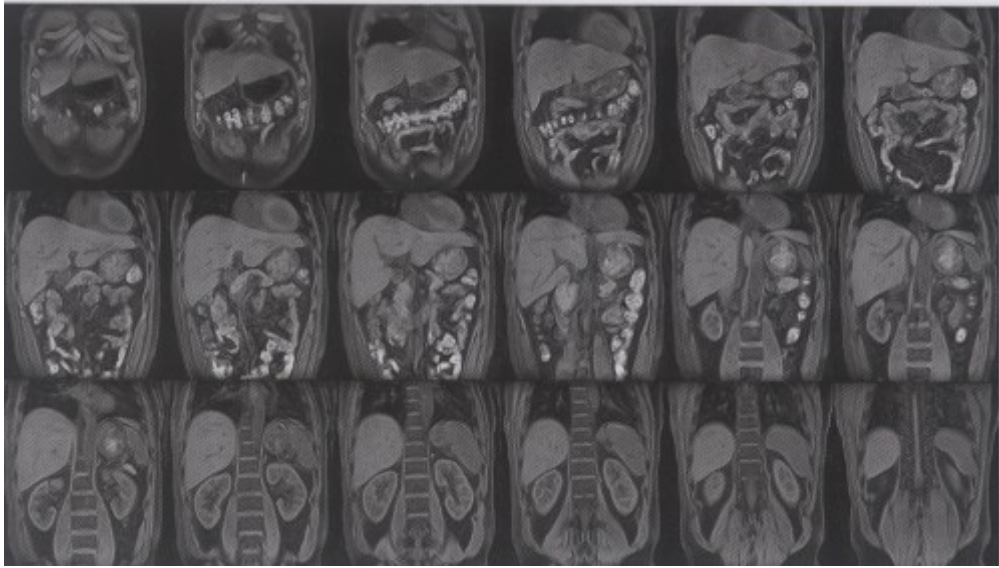
静音化技術Pianissimoを搭載しており音による患者さまの不安を低減させることができます。また検査空間を軸長1495mmと以前の装置より500mm程短いため、腰椎や骨盤、下肢の撮像では、頭が検査空間に入ることが少なくなるため、検査時の圧迫感を低減し、安心して検査を受けることができます。

2 検査時間の短縮

短時間技術SPEEDERにより、最大4倍速

での撮像時間短縮が可能となり、短時間に検査することができます。また、同時に接続可能なコイル(*1)を搭載していることでコイル交換の手間が低減され、待ち時間の短縮化ができます。

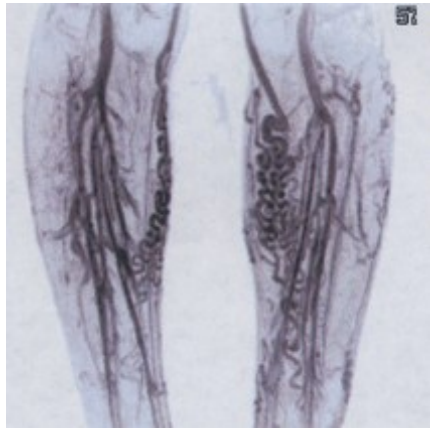




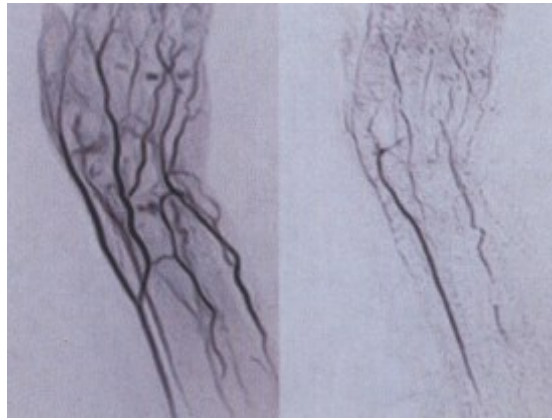
撮像時間の短縮
 息止め全肝コロナル (*2) 撮像
 (13秒息止め下で50枚のコロナル像を撮
 像)

撮像時間の短縮

下肢血管



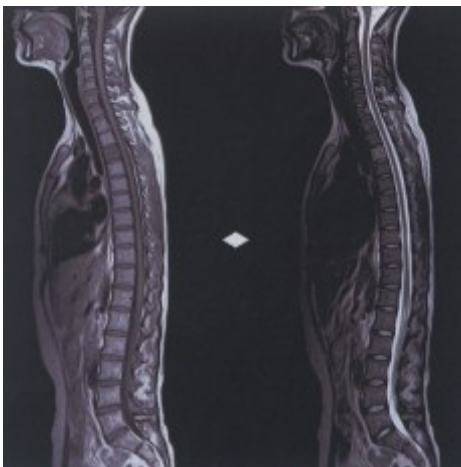
上肢血管



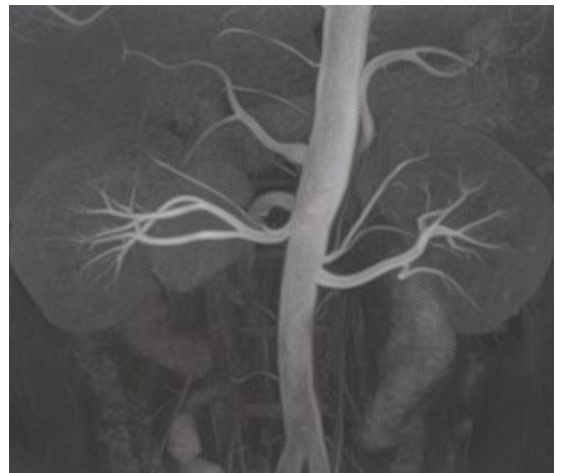
3 血管や管腔の撮像
 造影剤を用いずに様々な血管を描出できる
 ので診断の幅が広がり、血流の動態も把握
 できます。

3 血管や管腔の撮像

全脊椎

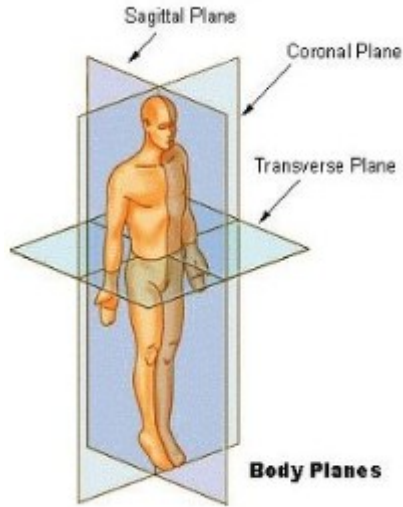


腎動脈 (造影剤を不使用)



*1 コイル
検査部位に装着する筒状または板状の機器。この機器で体内からの信号をうけとります。

*2 コロナル
からだを前と後の2つの部分に分けるような切り方の向きのこと。



4 JET (体動補正機能)

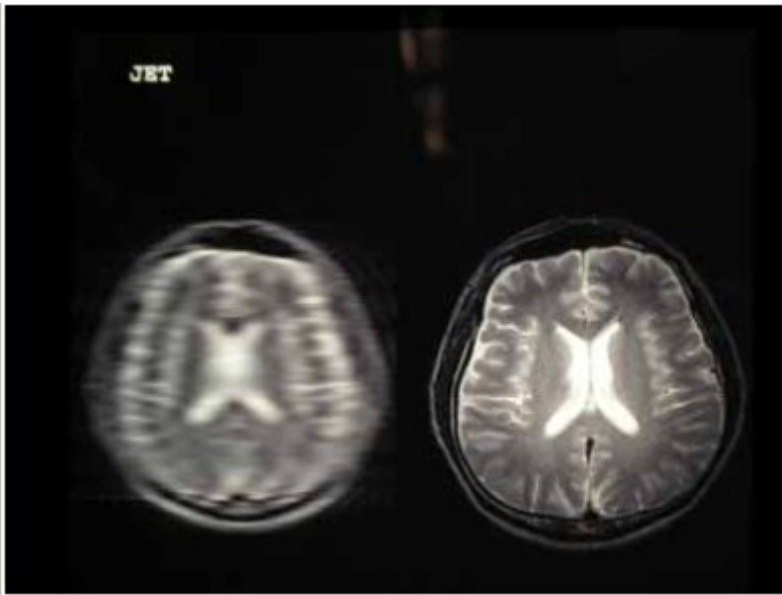
MRI検査中は静止しておくことが必要なため、静止が困難な小児や高齢者の方、安静下においても動いてしまう腹部や骨盤、肩関節などの検査も、できるだけ動きを抑制する工夫が必要でした。

JETとは全身の様々な領域での体動の影響を低減する新機能です。これによって安静が保てずに検査不可能となっていた検査を減らすことができただけでなく、呼吸によって動く臓器でも動きの影響を抑えた画像を得ることができます。

また、体動によって画像が劣化した際に行われていた撮り直しも少なくて済むため、検査時間や待ち時間の短縮化が図られます。

JET画像

左図において左側の画像は体動によってぶれた画像になっていますが、JET (体動補正機能) を加えることによって右側の画像のようにぶれのない鮮明な画像になります。



検査を受けられない方

- ・心臓ペースメーカーを埋め込んでる方
- ・体内埋込型電子機器を埋め込んでる方
- ・脳深部刺激療法を受けている方

確認が必要な方

- ・妊娠中またはその可能性のある方
- ・人工内耳、人工中耳の手術をした方
- ・脳動脈瘤クリッピング(磁性体クリップ)手術をした方
- ・圧可変式のシャントバルブを埋め込んでいる方
- ・人工関節の手術をした方
- ・磁石で固定するタイプの義歯治療および金属で固定された方
- ・金属製のステントを挿入している方
- ・入れ墨のある方
- ・その他、体内に金属が入っている可能性のある方
- ・身体的に装置に入ることができない方
- ・閉所恐怖症の方

以上、新MRI装置の紹介およびMRI検査時の注意事項の説明でした。

なお、検査内容や質問などはお気軽に医師または放射線科までお尋ねください。

MR-ITは、この検査装置



インフルエンザ 予防接種について

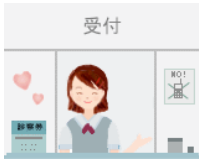
今年も、季節性インフルエンザに加え、新型インフルエンザの流行もあり、そろそろ予防接種をお考えの方も多いかと思えます。

新型インフルエンザは、病気も「新型」ならワクチンも「新型」。季節性インフルエンザの予防接種とは別に予防接種を受ける必要があります。国は、接種に向けた準備をしている段階で、十月下旬からワクチンを供給開始する予定としています。優先接種対象者から順次、接種が開始されることになります。

また、どこの医療機関でも予防接種が受けられるわけではなく、国と契約した医療機関で予防接種を受けることになります。

九月四日に厚生労働省から発表された接種案では、第一に医療従事者を最優先するとの見解です。これは治療を介して多数の患者さんにウイルスが広まらない措置です。現段階における優先接種対象者は、下表のとおりです。なお、現段階での情報を基にしておりますので、今後変更になる可能性があります。御了承下さい。

季節性インフルエンザの予防接種は、十月より当院でも受けられることが出来ます。希望する方は受付にお申し込み下さい。



対象者		理由	参考人数
優先接種対象者	インフルエンザ患者の診療に従事する医療従事者（救急隊員含む）	インフルエンザ患者から感染するリスクが高く、医療体制に支障をきたす恐れがあり、必要な医療体制を維持する為に接種が必要	約100万人
	妊婦	新型インフルエンザに罹患して、重症化、死亡する割合が他の対象者に比べ高い	約100万人
	基礎疾患を有する者		約900万人
	小児（1歳～就学前）	海外事例において乳児の入院率が高いこと、国内事例において幼児の重症例がみられ、小児の感染率が高いことが示唆されているため、死亡者や重症者を減らす為に接種が必要（ただし、1歳未満の小児は、予防接種による効果が小さい→1歳未満の小児の両親に接種）	約600万人
	1歳未満の小児の両親		約200万人
その他	小中高校生	発症者の多数が10代以下の若年層。発症者数が多い為、相対的に重症者が多数発生するおそれ ⇒死亡者や重症者を減らす為に接種が望ましい。	約1,400万人
	高齢者（65歳以上）	現時点では、発症者は少ないが、今後患者が増加した場合、重症化する高齢者が多数発生する可能性 ⇒死亡者や重症者を減らす為に接種が望ましい。	約2,100万人 (基礎疾患を有する者を除く)

※『新型インフルエンザワクチンの接種について（素案）』厚生労働省より

秋が旬の魚 秋刀魚

秋のサンマは脂肪分が多く美味で、日本の「秋の味覚」の代表とも呼ばれています。

サンマはエサを食べてから排出する時間が30分程と短いため内臓にえぐみがなく、塩焼きのはらわたを好んで食べる人も多いはずです。

蒲焼の缶詰は水産物缶詰のなかでもポピュラーなもののひとつです。近年では刺身としても人気で脂が乗り切らない初秋が食べ頃とされ、他の青魚と同様に酔じめにしても美味です。

細い柳葉型で銀色に輝く魚体が刀を連想させることから、「秋刀魚」と表記されています。

サンマの栄養素

ビタミンB12、ビタミンAや前回ご紹介したアジにも含まれている栄養素のエイコタペンタエン酸(EPA)やドコサヘキサエン酸(DHA)が豊富に含まれています。



ビタミンB12…赤血球のヘモグロビン産生に関与し不足すると貧血になります。

ビタミンA…皮膚や粘膜を丈夫にし、眼精疲労防いだり、ガンの予防にもなります。

EPA…血液の流れを良くし、血中のコレステロールを減らし、動脈硬化を予防し、脳梗塞や心筋梗塞などの病気を予防する効果があるとされています。

DHA…体内の悪玉コレステロール(LDL)を減らす作用や、脳細胞を活性化させ頭の回転を良くする効果もあるとされ、老化の予防に期待できます。

生サンマの鮮度の見極め方

- ・尾を持ちサンマの頭を上に向けた時、体が曲がらずにできるだけまっすぐに立つもの
- ・目が濁っていないもの
- ・口先がほんのり黄色いことなどです。

サンマといえば塩焼きが一般的ですが、こんな一品はいかがですか？

味噌は大豆たんぱく質を豊富に含んでいるので、抗がん作用があると言われています。

サンマの味噌焼き 2人分

材料

- サンマ・・・150g (三枚おろし)
- 味噌・・・小さじ2
- みりん・・・小さじ1
- 砂糖・・・小さじ1/2
- 酒・・・小さじ1/2
- しょうが汁・・・小さじ1
- ねぎ・・・10g (みじん切り)

作り方

- ①三枚におろしたさんまを一枚を3つ程度に切り、水気をふいておく。
- ②調味料、ねぎを混ぜ合わせさんまにからめて焼く。火が通れば出来上がりです。

病院理念

- ・生命を尊重し、平静な心で臨む医療を実践します。

基本方針

- ・地域に根ざした救急医療を目指します。
- ・正しい診断と早く良くなる治療方法について積極的に新しい医療技術を適用していきます。
- ・患者様と御家族の方の納得する医療を提供します。
- ・快適な療養のための環境づくりに努めます。
- ・患者様本位のチーム医療を実践します。

患者の権利憲章

1. 私たちは、全ての患者様が平等に、良質の医療を受けられる権利を尊重します。
2. 私たちは、患者様のプライバシーに配慮し、患者様の個人的情報等の秘密は、守られる権利を尊重します。
3. 私たちは、患者様がご自分の病名や検査等について説明を受け、それを知る権利を尊重します。
4. 私たちは、患者様がご自分の意志で病気にかかる治療法等について、決定する権利を尊重します。
5. 私たちは、患者様が診療の結果などについて、他の医師の意を求め、医師や病院を選択する権利を尊重します。

透析室通信



今回は糖尿病の透析についてお話します。

糖尿病の透析は、個々の病態によって異なりますが、糖尿病から透析を受けるようになった方の増加とともに、透析方法が工夫され、治療開始後の経過も従来と比べて改善されるようになってきました。

①透析導入

糖尿病の透析者では、透析開始の時期がその後の経過を決定することがあります。無理をしないで早めに透析を始めることが大切です。また、透析導入の前には、いろいろな症状が起こりますが、透析はこれらの症状の改善と予防にも効果をあげています。

★透析導入前の主な症状★

- ・呼吸困難
- ・全身のむくみ
- ・吐き気、嘔吐
- ・全身倦怠感（だるい）
- ・意識障害

②透析維持期

安定した透析の時期になると腎不全症状は軽減ないし消失します。しかし、他の疾患で透析を受けている方に比べると、透析中の低血糖、低血圧、吐き気、嘔吐などの頻

度は高く、食事（血糖管理）と水分（体重）の管理が大切です。また、シャントの閉塞を起こすことも多く、シャント管理が重要となります。

★透析維持期の糖尿病での合併症★

- 目の障害 …… 糖尿病性網膜症
- 循環障害 …… 脳血管障害、めまい（起立性低血圧）、高血圧
- 感染症 …… かぜ、肺炎、結核
- 心臓の障害 …… 心筋梗塞、心不全
- 胃腸の障害 …… 下痢、便秘、吐き気
- 皮膚の障害 …… かゆみ、化膿、壊疽（血行障害）
- 神経の障害 …… 糖尿病性神経障害、しびれなど

次回は日常生活の留意点について、お話しします。

編集後記

今年梅雨明け宣言もないまま、朝晩、すっかり秋の気配になってしまいました。新型インフルエンザも猛威を振るっています。皆さん、体調管理はいかがですか。食欲の秋、おいしいものをたくさん食べて、風邪などひかないよう気をつけましょう。